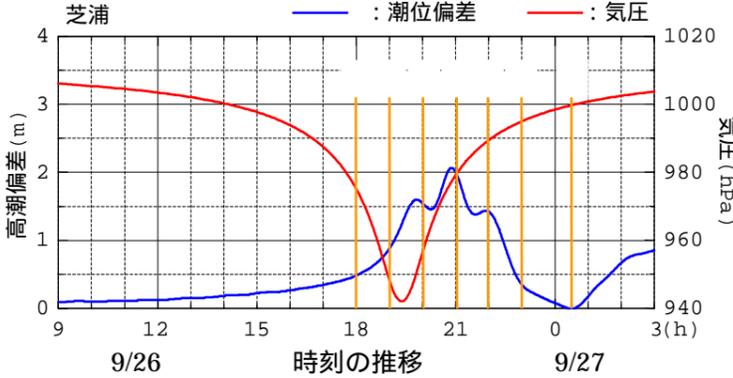
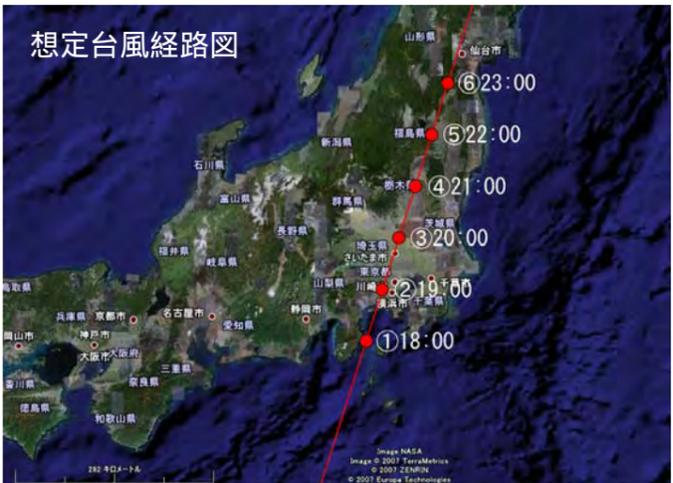
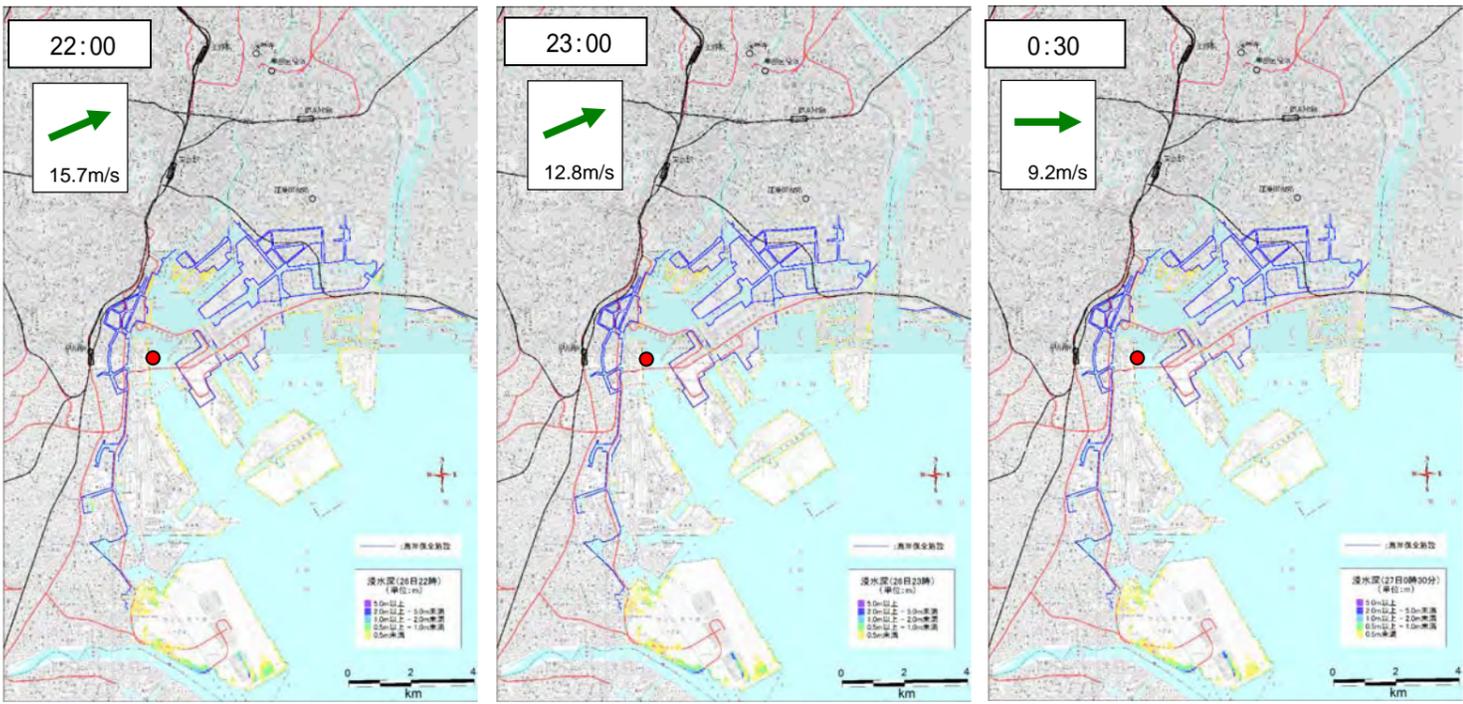
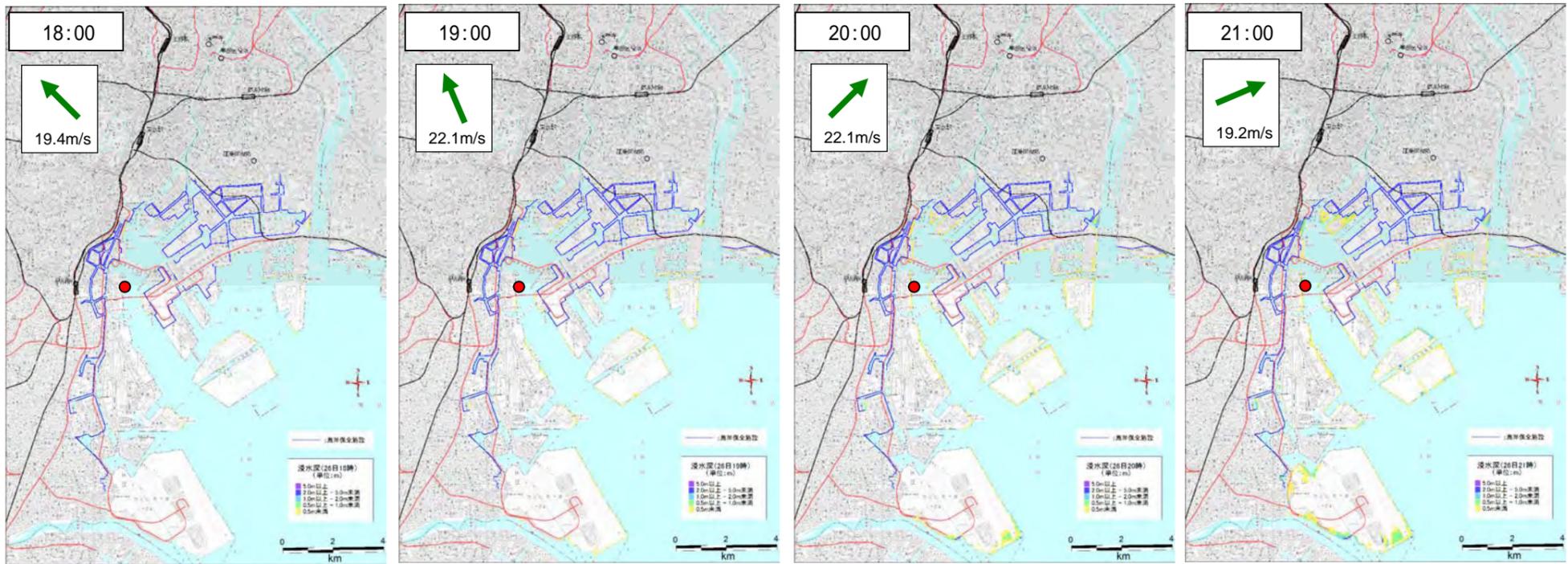
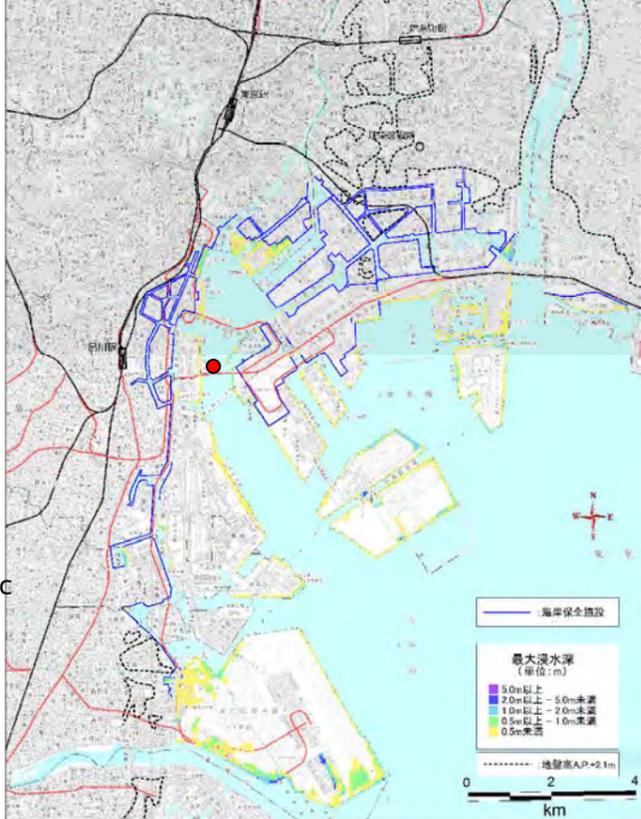


## 東京港等における各シナリオの浸水想定結果の概要

東京港等：シナリオ A 海岸保全施設等の機能は正常、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



最大浸水深分布  
 浸水面積：601ha  
 浸水量：2,251 (× 1,000m<sup>3</sup>)



— : 海岸保全施設

浸水深  
(単位:m)

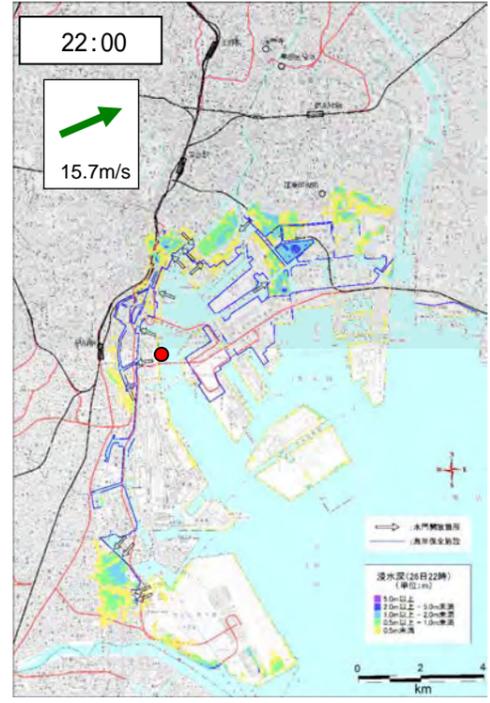
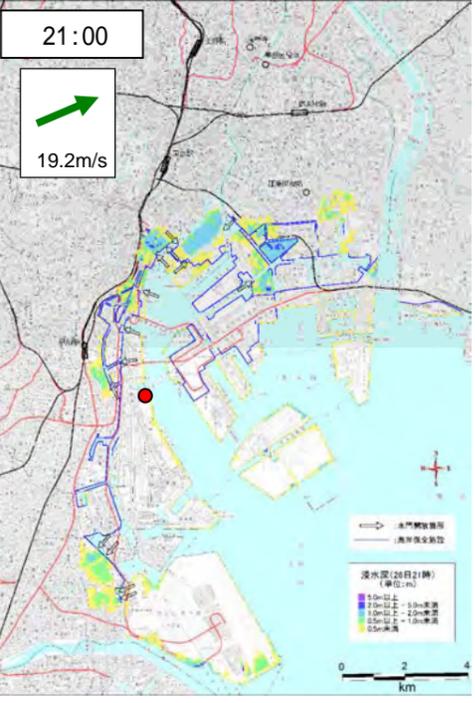
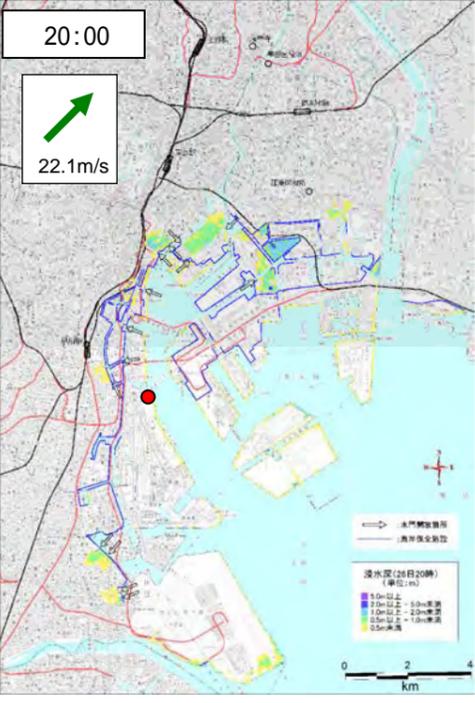
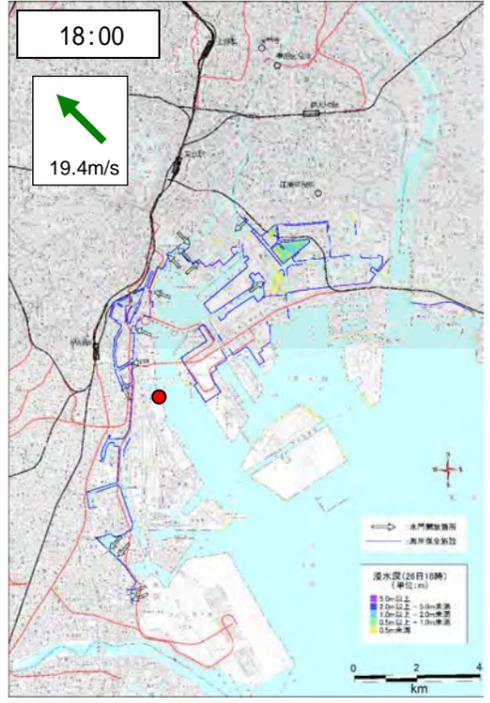
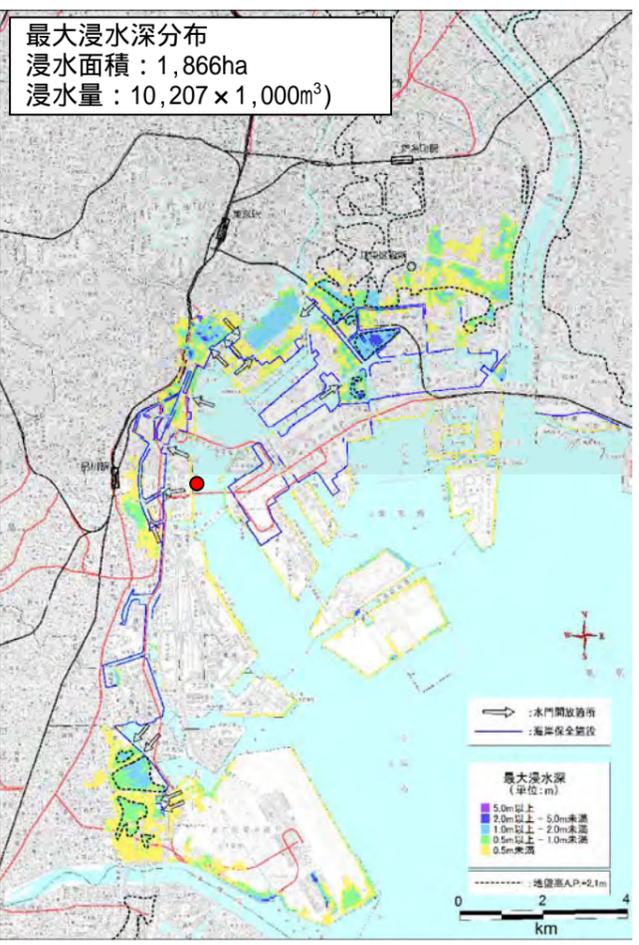
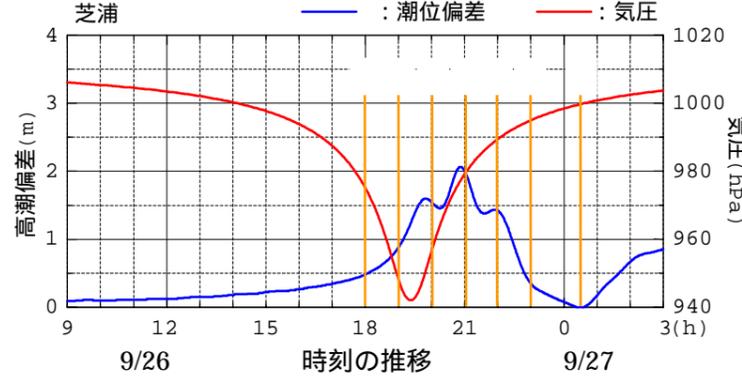
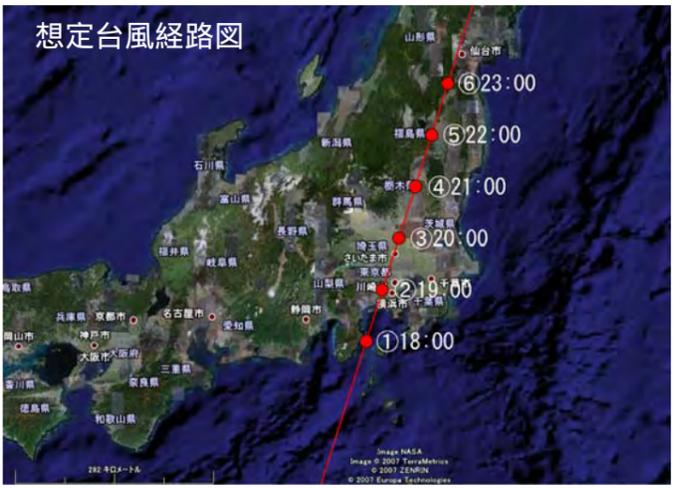
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水箇中に矢印 (→) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である (浸水箇中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁 (水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局) 及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

東京港等：シナリオB 海岸保全施設等が地震で被災、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



: 水門開放箇所  
 : 海岸保全施設

**浸水深**  
 (単位:m)

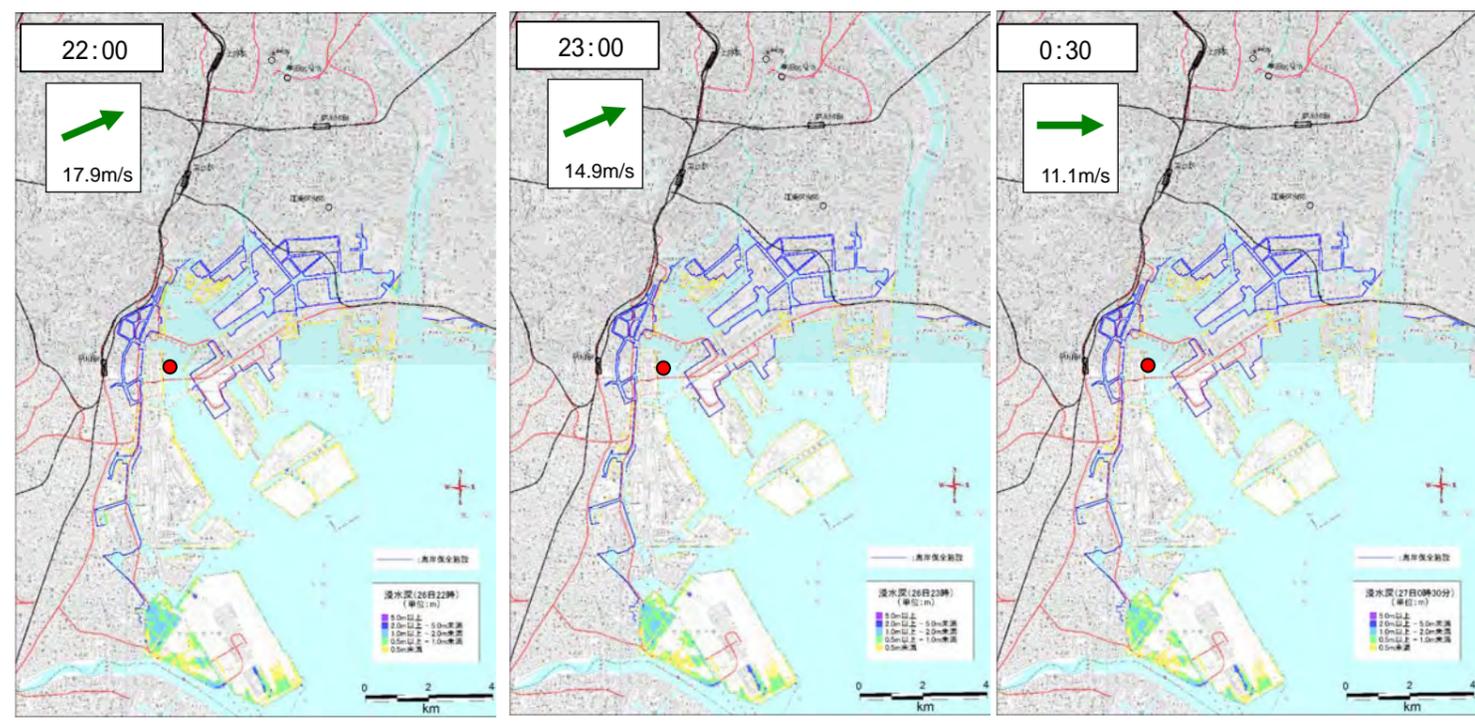
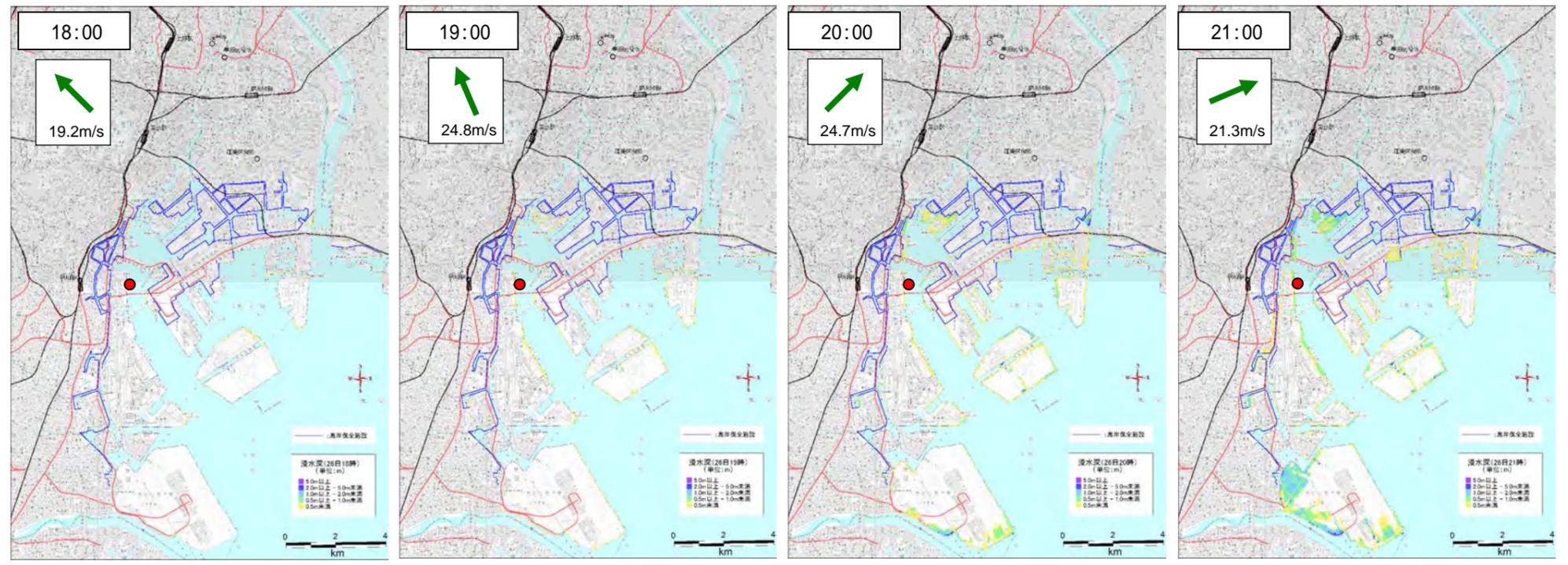
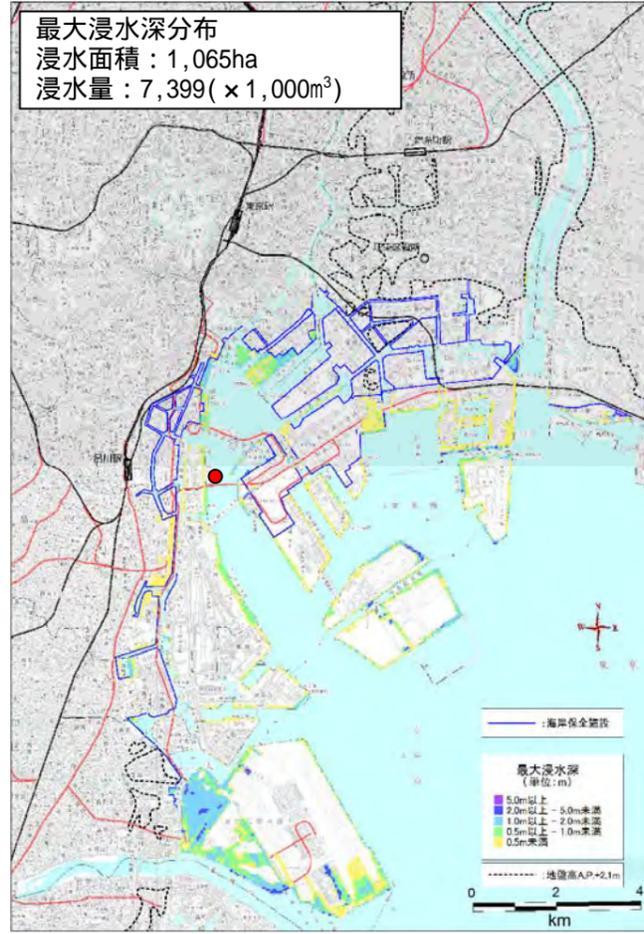
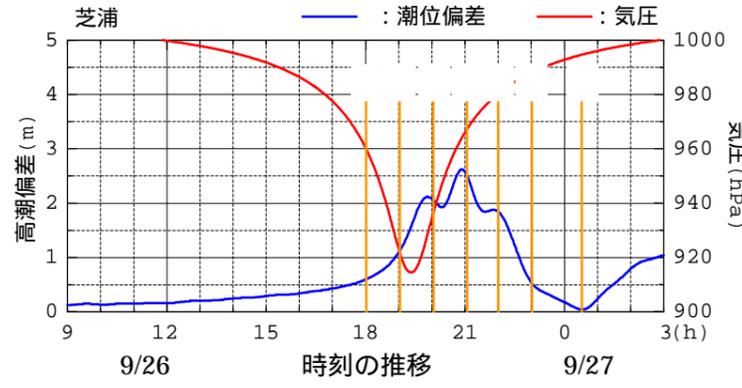
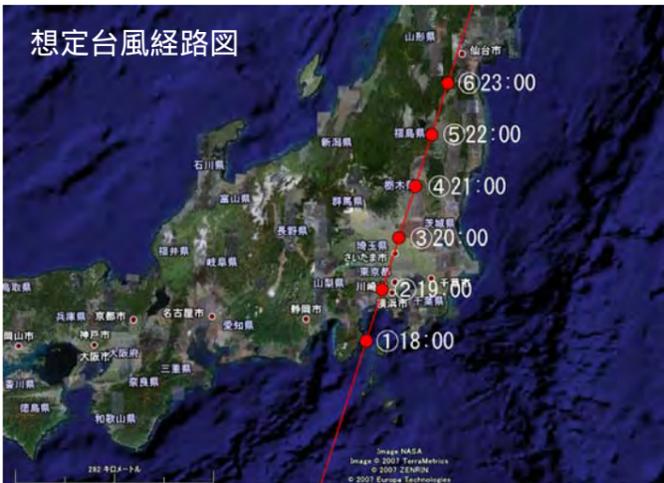
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 ( ) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である ( 浸水図中の 印 ) 。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁 (水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局) 及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

東京港等：シナリオC 海岸保全施設等の機能は正常、室戸台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



— : 海岸保全施設

浸水深  
(単位:m)

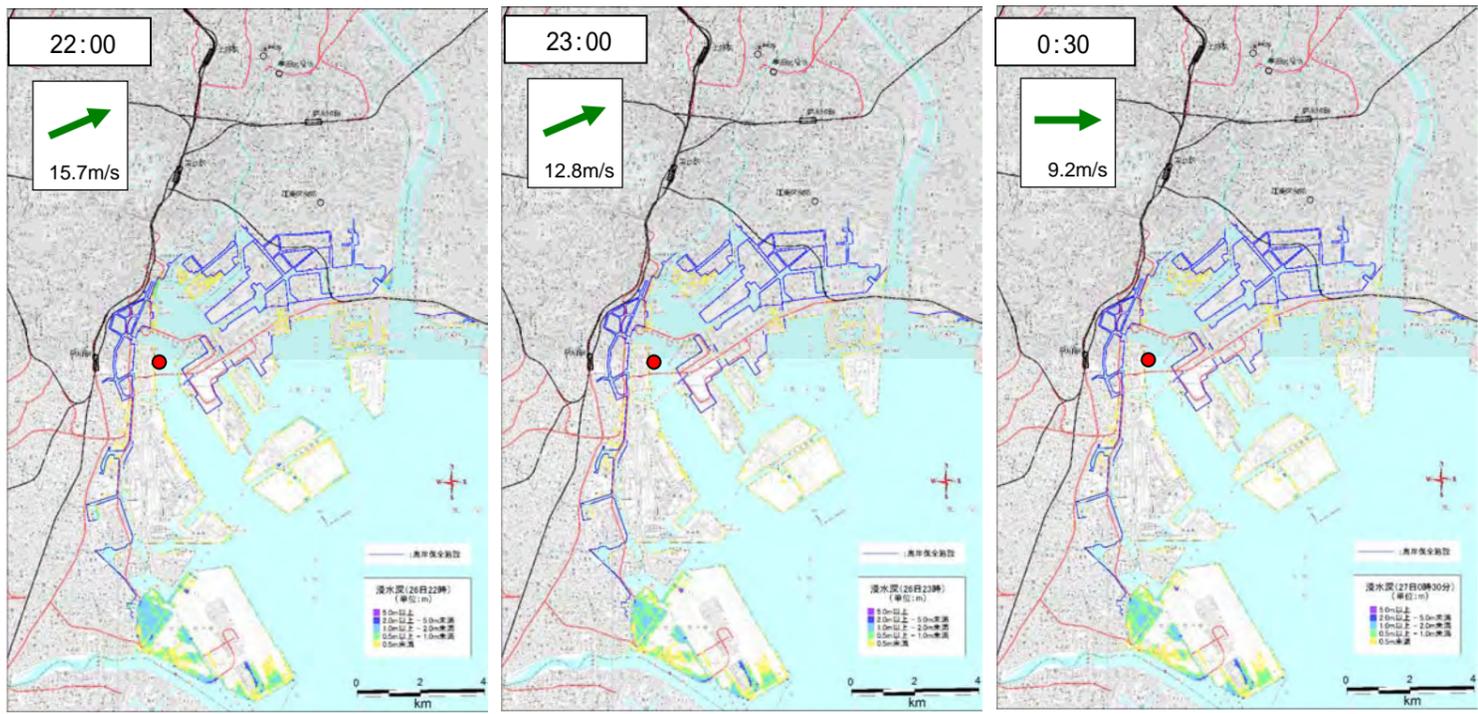
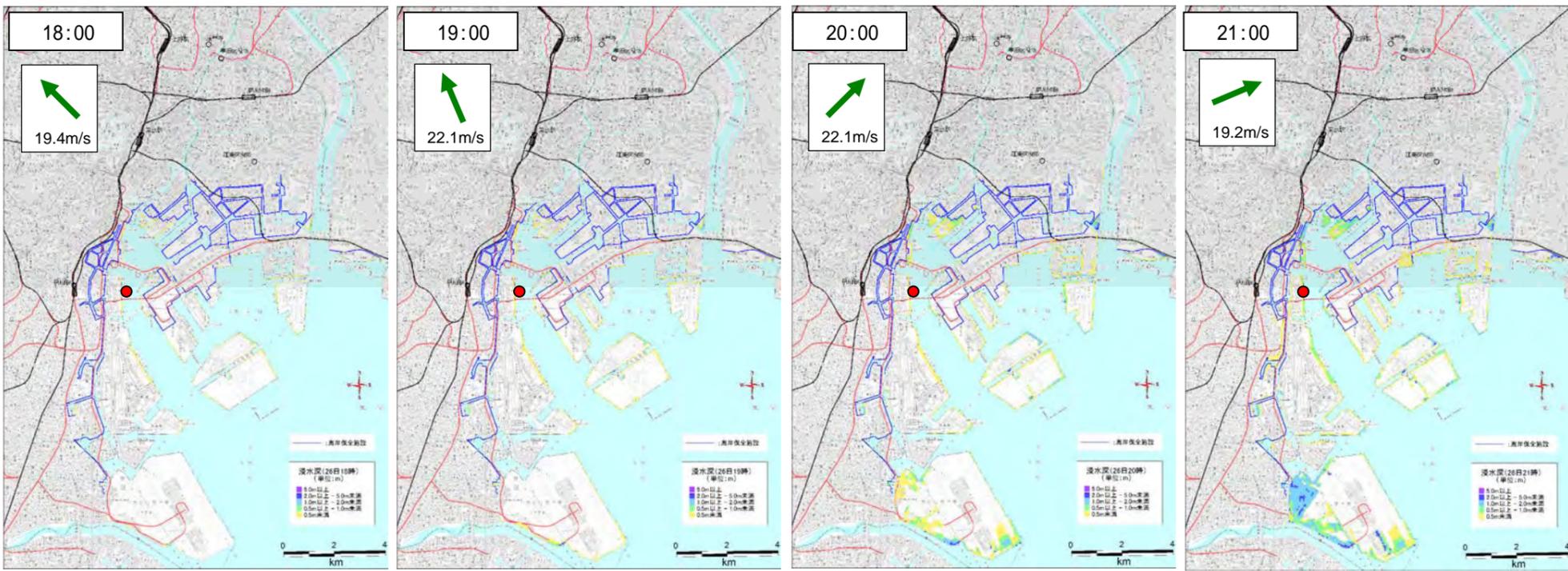
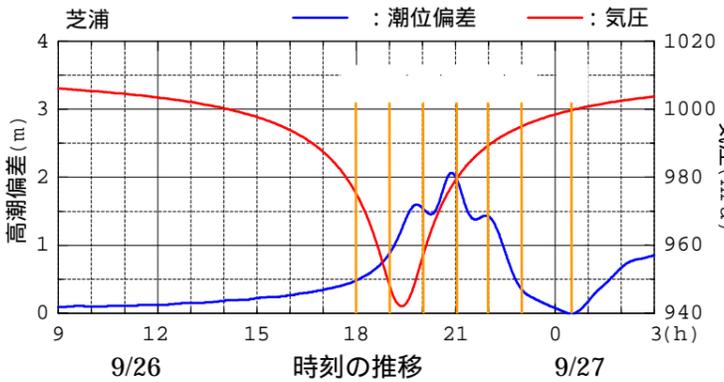
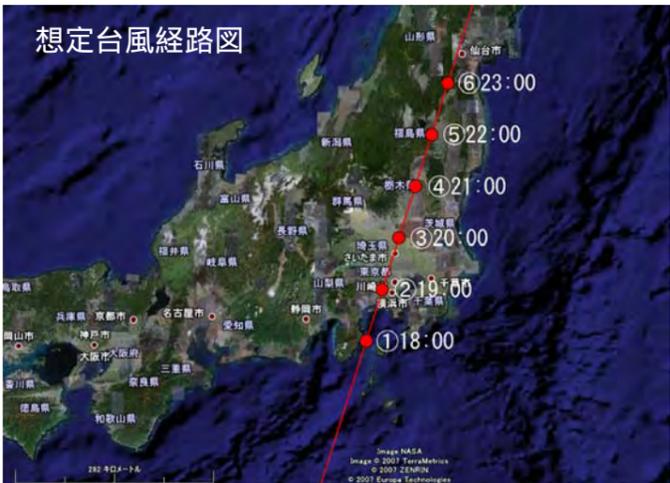
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

東京港等：シナリオD 海岸保全施設等の機能は正常、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)



— : 海岸保全施設

浸水深 (単位:m)

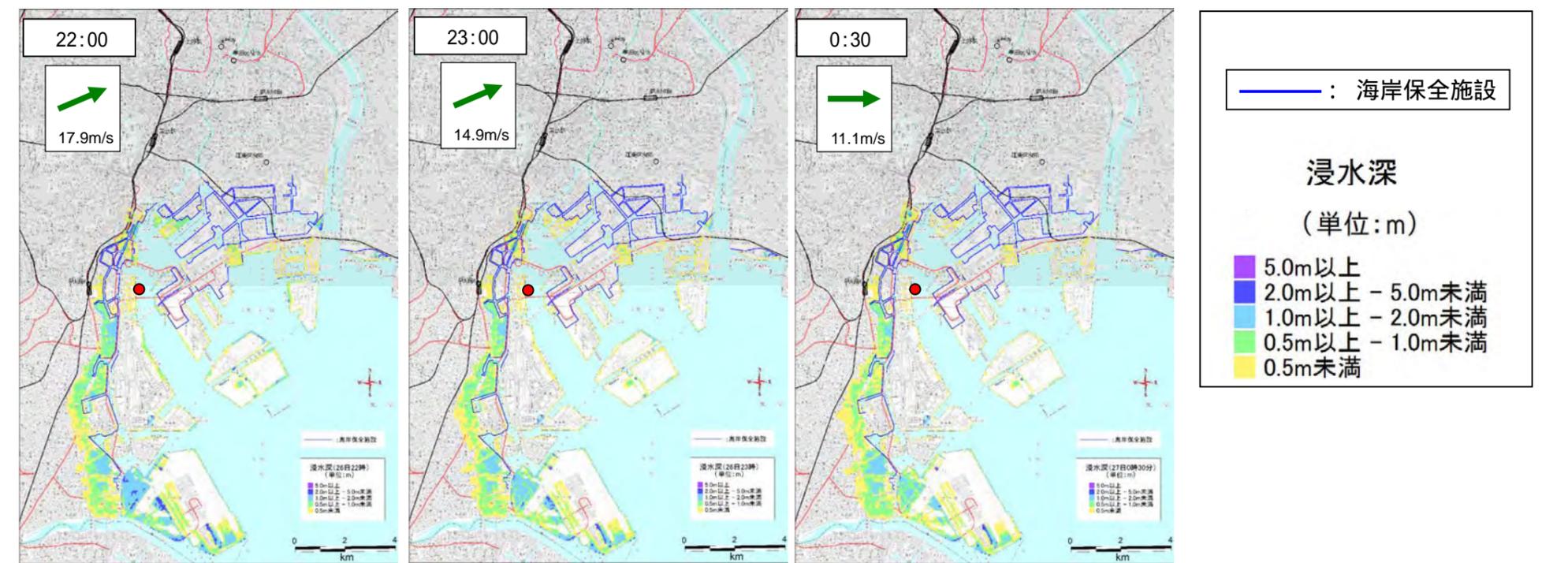
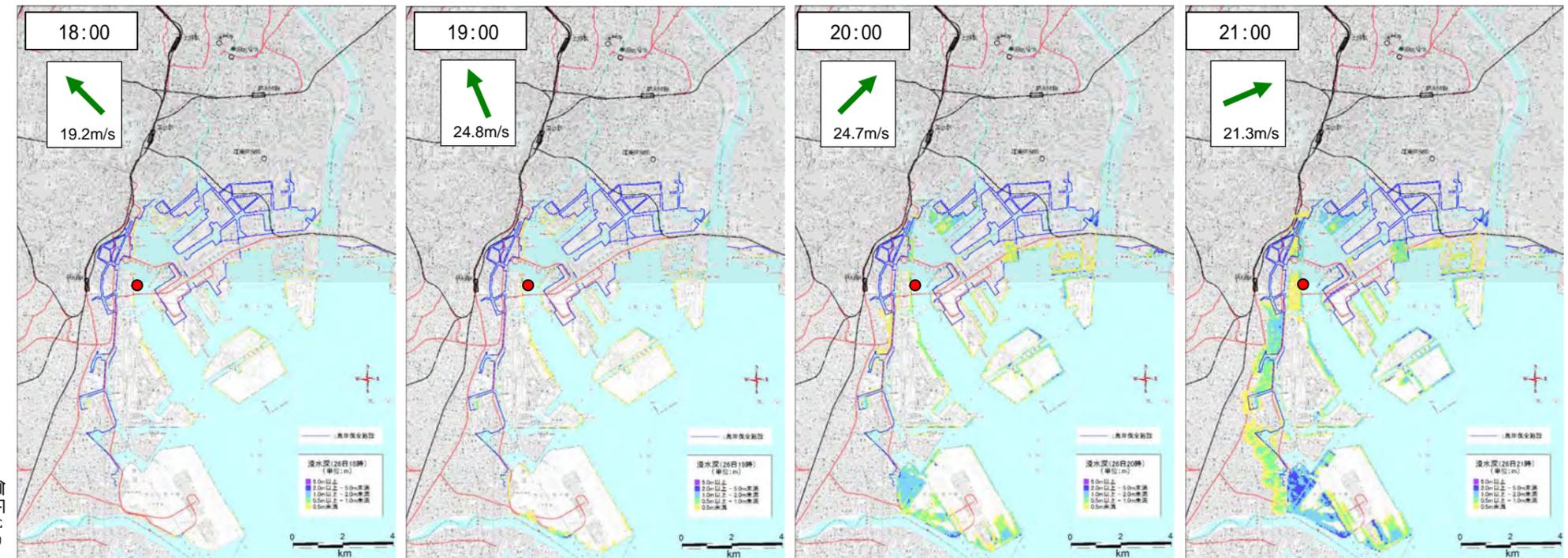
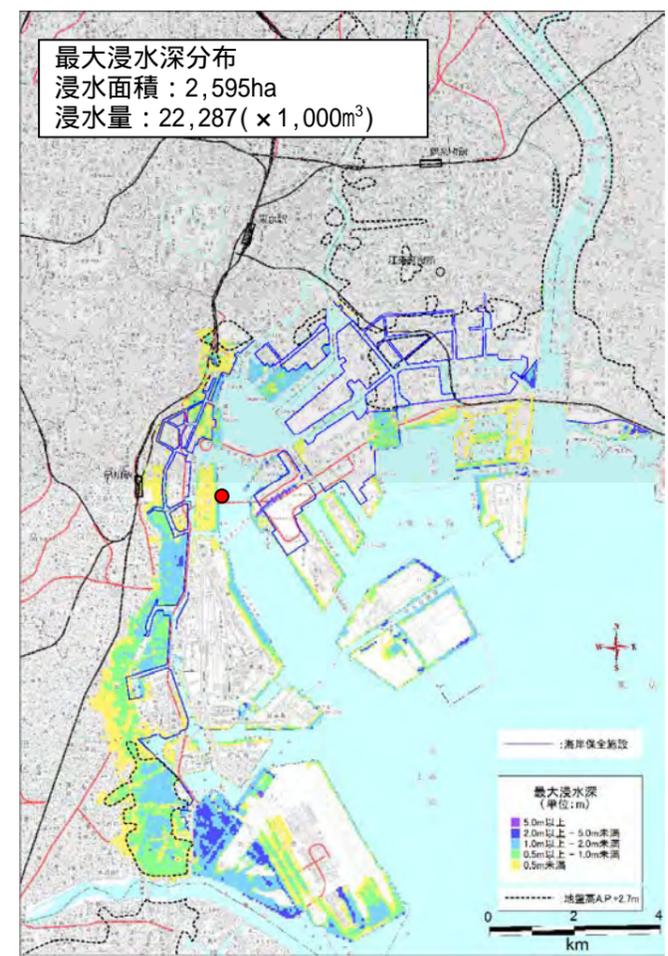
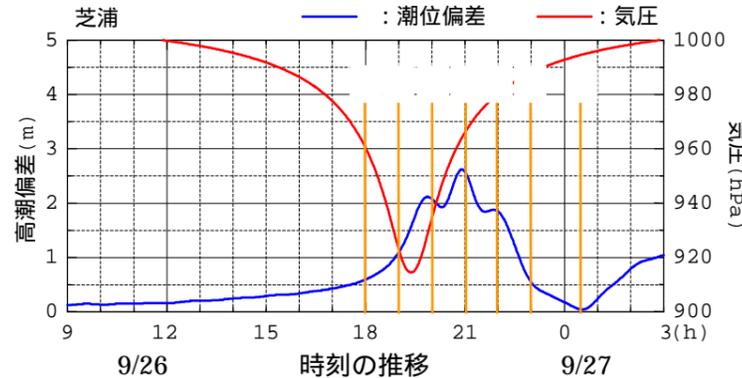
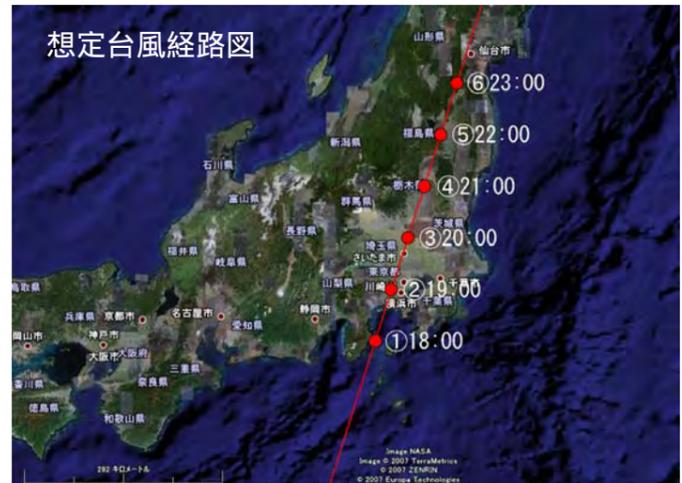
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

東京港等：シナリオ E 海岸保全施設等の機能は正常、室戸台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)



— : 海岸保全施設

浸水深  
(単位:m)

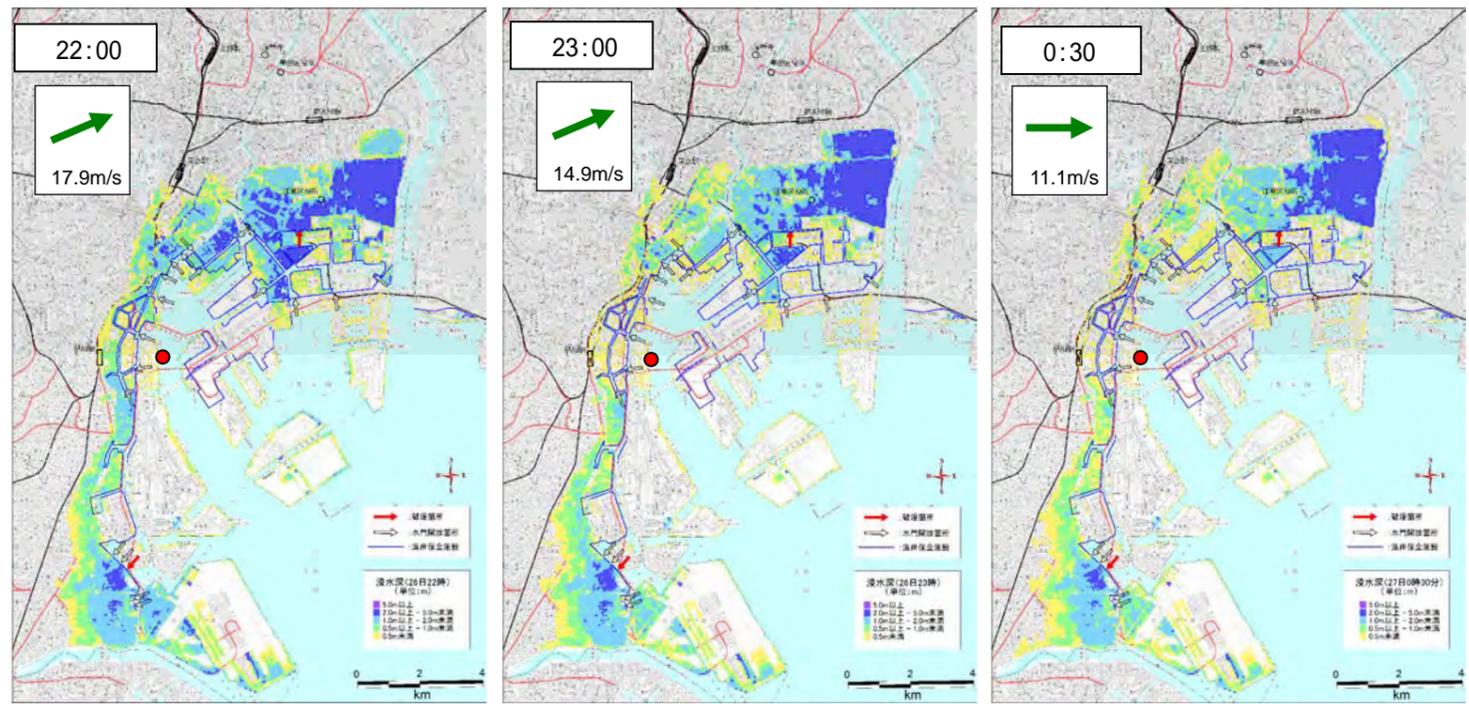
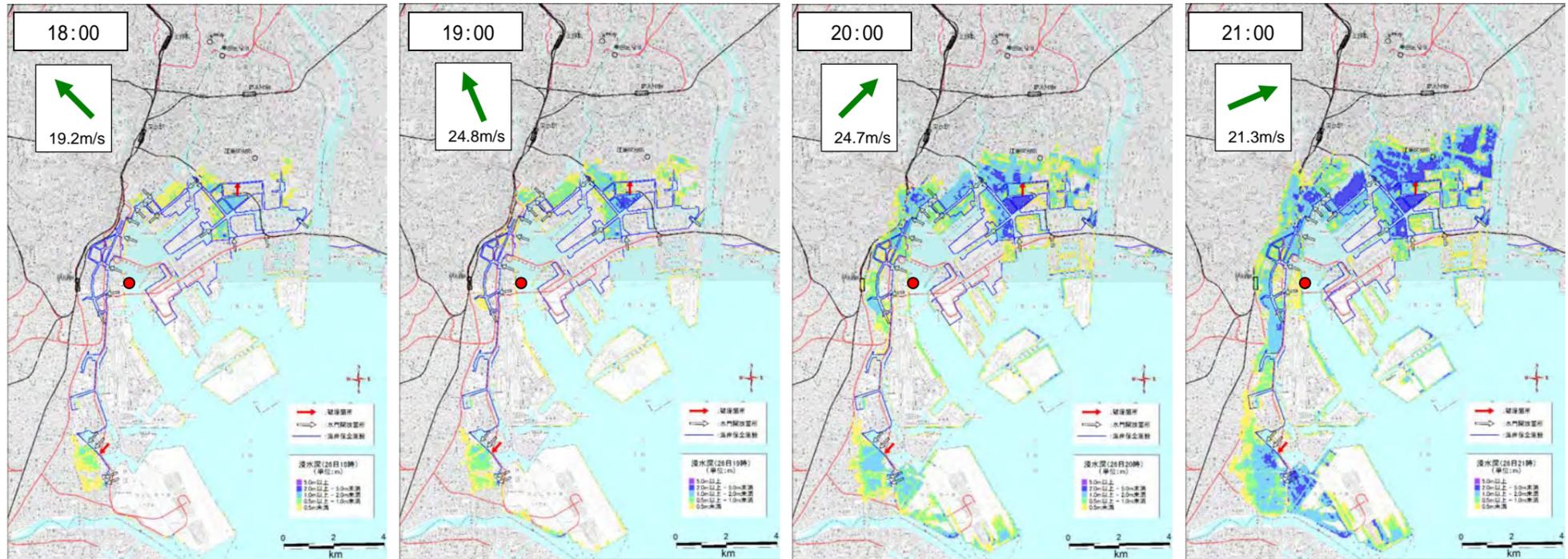
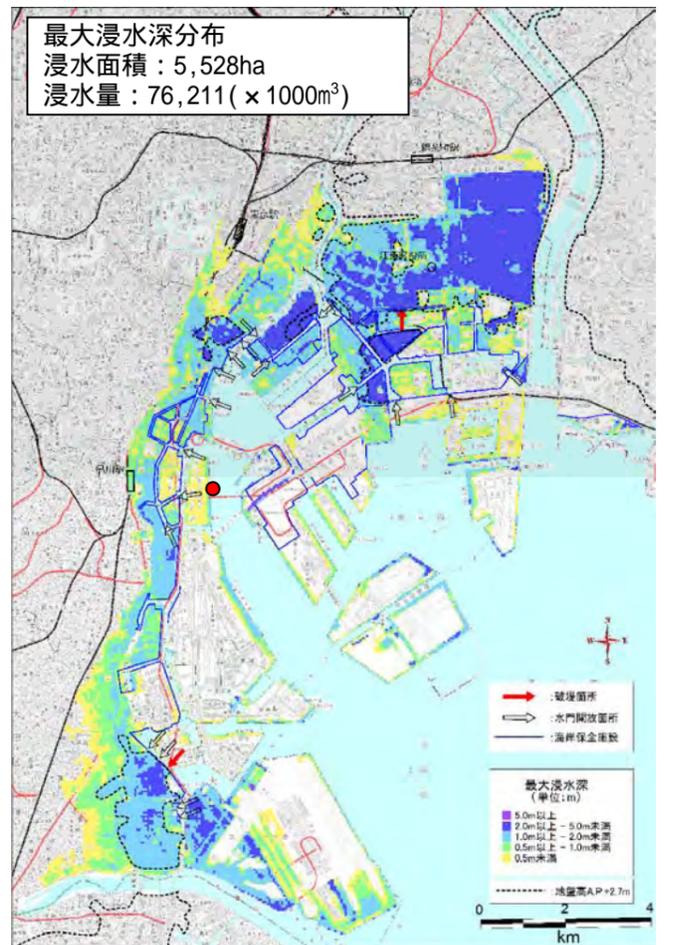
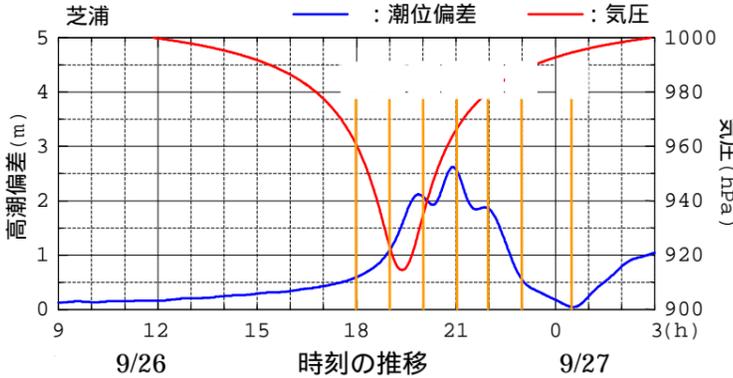
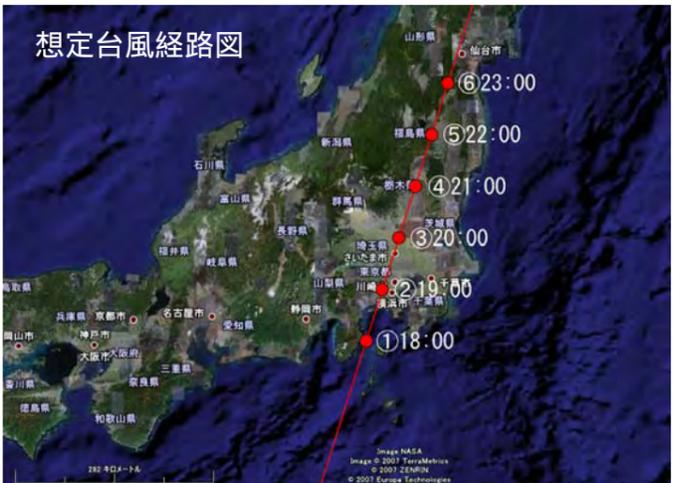
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 ( → ) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁 (水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局) 及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

東京港等：シナリオF 全水門開放及びゼロメートル地帯で破堤、室戸台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)



➡ : 破堤箇所  
➡ : 水門開放箇所  
 : 海岸保全施設

**浸水深**  
(単位:m)

- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (➡) で示す風向・風速は、東京港芝浦埠頭付近の推算値である (浸水図中の 印)
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。